



# 種（たね）

## アジアの女性と語る農と食の未来

日本では種子法が廃止されたけれど、世界の種子はどうなっているの？  
生物多様性に基づく持続可能な食と農のシステムとはー？  
グローバルに活躍する講師のお話を聞き、希望の輪を広げよう！

### 【第1回】

## 遺伝子組み換え作物・種子の支配と たたかうインドの女性たち

～コミュニティ・シード・バンクの実践～



©Bioversity International/P.Bordoni

**シャリニ・ブタニさん**  
(インド/FTA対抗フォーラム コーディネーター)

**6/23** 18:30～21:30 OPEN 18:10

麴町区民館 B1F 洋室A・B

参加費 1,000円 逐次通訳あり \*要予約 (先着70名)

### 【第2回】

## “抵抗の種子”を世界に広げよう！

～新たな自由貿易協定の波と  
アジア・アフリカ・ラテンアメリカの国際連帯運動～



©GRAIN

**カティニーニ・サモンさん**  
(インドネシア/国際NGO・GRAIN)



**6/30** 18:30～21:30 OPEN 18:10

神保町区民館 2F 洋室A・B

参加費 1,000円 逐次通訳あり \*要予約 (先着70名)



**解説**  
**印鑰智哉** (日本の種子を守る会事務局アドバイザー)



**コーディネーター**  
**内田聖子** (PARC共同代表)

**コメント**  
**岡崎衆史** (農民運動全国連合会 国際部副部长)

# 種子—アジアの女性と語る農と食の未来

## 趣旨

食の源である種子。

農業も豊かな食文化も、すべては1粒の種子から始まりました。しかし「緑の革命」以降、工業化された大規模農業が推進される中で、種子は知的所有権の対象となり、グローバル企業による支配が進められてきました。

こうした支配は、自由貿易協定（メガFTA）のもとさらに強化されています。現在交渉中のRCEP（東アジア包括的経済連携協定）には、ASEAN10カ国に日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インドを加えた計16カ国が参加していますが、ここでもアジアの農民の種子の権利は脅威にさらされています。

リーク文書によれば、日本と韓国が参加国の農民の種子の交換等を犯罪とする国際条約「UPOV1991」の批准をRCEPにて義務化しようとしているといわれます。アジア諸国の農民からは「日本はこの提案を撤回してほしい」という強い要望が表明されています。

このようなルールが多く協定にて実現してしまえば、世界の農民が守ってきた種子の多様性は急速に失われ、生態系へも悪影響を及ぼします。種子を失った農民が、企業の実質的な契約栽培者にならざるを得ない危険も高まります。

一方、世界で種子の公共性や多様性を求める動きは今、世界で大きくなりつつあります。国連でも種子の権利やその多様な遺伝資源の保全を守ろうとする動きが活発となり、「小農の権利および農村で働く人びとの権利宣言」も2018年中の採択が期待されています。さらに2019年からは国連「家族農業の10年」も始まり、小規模家族農業を推進するための活動が世界で展開されることになっています。

こうした中、6月下旬に東京でRCEPの中間交渉会合が開催されます。交渉ウォッチのためNGO・専門家など市民社会の代表が来日するこの機会に、アジアと世界の種子、食と農の未来を考えるセミナーを企画しました。

日本では2018年4月に主用農作物種子法が廃止となり、種子の問題に多くの方が気づき、行動しようとしています。インドにおける種子バンクの取り組みや、アジア・アフリカ・中南米の小農民の国際連帯運動、女性が積極的に参画する地域づくり等、ゲストの経験をお聞きし、日本の私たちと今後一緒にできることを議論しましょう。

## 海外ゲスト

### カティニーニ・サモン Kartini Samon

インドネシア・ジャカルタを拠点とする市民組織オーガナイザー、リサーチャー。栄養士としてジャカルタ湾周辺の漁業者コミュニティにおける女性や子どもの栄養改善に取り組んできた。またインドネシア農民連合やSPI、農民の権利と食料主権を守るための国際的な農民運動「ピア・カンベシーナ」等を長らく支える。現在は、生物多様性を基礎とした食料システム構築をめざす国際NGO「GRAIN」のメンバーとしてアジア各国で活動中。GRAINは農民の種子の権利やアグロエコロジーに関して調査・情報発信する著名な国際組織である。

### シャリニ・ブタニ shalini bhutani

インド・ニューデリーに拠点を活動する弁護士、政策アナリスト。アジア地域における自由貿易協定の影響に関して研究・発信を行う。特に、知的財産権、農業・生物多様性、地域コミュニティの権利、女性の開発への参加をテーマとする。「インドFTA対抗フォーラム」や、パンダナ・シヴァ氏が設立したインドの著名な種子バンク「Navdanya」などにも参画する。RCEP交渉にはインドの市民社会組織として長くウォッチと提言を行っている。

## 参加のご案内

- \*1回のみ参加、2回連続の参加いずれも歓迎です。
- \*各回で会場が異なりますのでご注意ください（下記）。
- \*各回とも定員に達した時点で締め切りますので必ず事前にお申込ください。
- \*お申込はPARCウェブサイトまたは事務局へお願いします。

## 会場地図

### 6/23 麹町区民館

〒102-0083  
千代田区麹町2-8

- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」徒歩5分
- 東京メトロ有楽町線「麹町駅」徒歩5分



### 6/30 神保町区民館

〒101-0051  
千代田区神田神保町2-40  
(神保町ひまわり館内)

- JR・都営三田線「水道橋駅」徒歩10分
- 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町駅」徒歩5分



お申込・  
お問合せ

NPO法人 アジア太平洋資料センター (PARC)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F

TEL.03-5209-3455 FAX.03-5209-3453 E-mail: office@parc-jp.org <http://www.parc-jp.org/>